

## 評価基準

### 1. 審査の基本方針

評価は、合計100点満点とし、各委員の評価点の合計をもって順位を決定する。

本業務は、ゼロからの計画策定ではなく、「市が作成した素案（1次評価）のブラッシュアップ」及び「再編パターンの経営的な比較検討」が重要であるため、提案内容の実現性や分析手法の具体性を重視する。

### 2. 評価項目及び配点（例）

評価項目	評価の視点	配点
1. 実施方針・手法	<ul style="list-style-type: none"><li>・業務の目的、背景、市の意図（素案の活用）を十分に理解しているか。</li><li>・スポーツ施設特有の課題（多様な種目、稼働率等）や地域防災計画の位置付けを踏まえた方針となっているか。</li><li>・スケジュールは、計画的なスケジュールになっているか。</li></ul>	15
2. 具体的な提案内容	<p><b>(1)劣化度調査の具体性</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・既存図面不足時の対応や、現地調査及びヒアリング調査による劣化度判定の手法を記載すること。</li></ul> <p><b>(2) 施設の機能・運営状況の分析の具体性</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各施設の機能水準や利用実態、競合状況を分析し、将来需要を予測する手法を記載すること。</li></ul> <p><b>(3) 再編の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・施設の改修や複合化による利用状況への影響についても留意し記載すること。</li><li>・施設の長寿命化、集約化、複合化、廃止等の比較検討（LCC試算）の手法を記載すること。</li><li>・再編にあたり民間資金を活用した手法など様々な手法についても留意し記載すること。</li></ul>	50
3. 実施体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・配置予定技術者の資格、専門性、実績は十分か</li></ul>	10
4. 同種業務実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・過去に類似の個別施設計画（特にスポーツ施設）の策定実績があるか。</li></ul>	15
5. 経費の妥当性	<ul style="list-style-type: none"><li>・積算根拠が明確であり、業務内容に見合った適正な価格か。</li></ul>	10
合計		100

### 3. ヒアリングの有無

- 有り
- 提案書提出者に対して、プレゼンテーションおよび質疑応答（ヒアリング）を実施する。時間は説明15分、質疑15分程度とする（別途通知）。

### 4. 候補者の特定方法（採点が同点の場合の取扱い等）

(1)各委員の評価点を合計し、最も点数の高い者を特定者（第1優先交渉権者）とする。次点を次点者とする。

(2)最低基準点：合計点が満点の6割（60点）に満たない者は、候補者として選定しない。

(3)同点の場合の取扱い：合計点が同点の場合は、以下の順位で上位の者を優先する。

- ① 評価項目「2. 具体的な提案内容」の得点が高い者
- ② 評価項目「4. 同種業務実績」の得点が高い者
- ③ 上記でも同点の場合は、くじ引きにより決定する。